

〈次期開催地より〉

第60回全国へき地教育研究大会北海道大会

第60回全道へき地複式教育研究大会上川大会

みなさまのご参加をおまちしています

第60回全道へき地複式教育研究大会上川大会実行委員長 若林弘士

昨年からスタートした道へき・複連の第8次長計の研究主題を受け継ぎ、過日、第59回道へき複胆振大会が、道内各地区からたくさんの方々の参集のもと、開催されましたことに心より敬意を表します。また、胆振大会実行委員会の皆様、各会場校の皆様方、本当にありがとうございました。

さて、来年、平成23年度の全道大会は、北海道の屋根「大雪山系」を中心とした上川管内へと舞台を移し、10月13日(木)の全体会と分散会を旭川市で、14日(金)の分科会は4市(名寄市、士別市、旭川市、富良野市)3町(東川町、美瑛町、中富良野町)の9会場で開催いたします。また、道へき・複連の本大会だけではなく、全へき大会北海道大会としても、北海道のへき地・複

式教育を全国に発信する大会でもあり、どちらの大会も60回目という記念すべき大会となります。

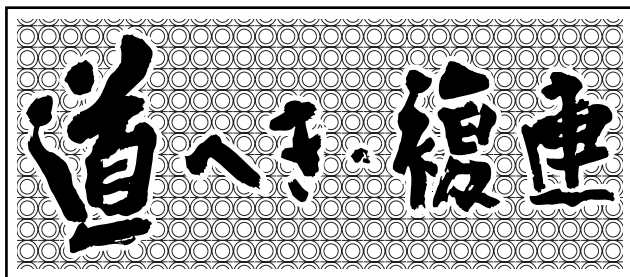
本年度の全道の胆振大会、全国の広島大会の成果を受け継ぎ、分散会・分科会の充実と、北海道らしさ、上川らしさを全面に打ち出し、現在、上へき・複連が中心となり、各現地実行委員会や道へき・複連と連携しながら、着々と準備を進めているところです。

鮮やかな四季の変化と雄大な自然が織りなす北の大地「上川」。豊かな農産物の宝庫「上川」。是非、秋の「上川」も楽しんでいただければ幸いです。来年、上川でお会いできますことを実行委員会一同心よりお待ちしております。

大会スローガン 「北の大地北海道で育つ子らに 培おう未来を拓く力を」

開催日 平成23年10月13日(木)全体会・分散会 ・14日(金)分科会

分給	会場校名	研究主題～副主題～	教科・領域・分野別
1	名寄市立智恵文小学校	「他との関わりの中で 自分らしさを発揮できる子どもの育成」 ～話し合い活動の充実を通して～	全領域 学校・学級経営3 学習指導6
2	士別市立多寄小学校	「伝え合う力を高める教育活動の工夫」 ～国語科を中心とした豊かな言語活動を通して～	国語 学習指導6・7
3	士別市立多寄中学校	「自ら考え、自ら学ぶ生徒の育成」 ～個を生かし、考える力を育む授業を通して～	各教科 学習指導5・6・7
4	旭川市立旭川第五小学校 ・桜岡中学校	「確かな学力を身につけ、 豊かな心で主体的に行動できる児童生徒の育成」 ～小中連携教育の推進を通して～	教科・道徳・特活 総合的な学習の時間 学校・学級経営4 学習指導5・6・7
5	東川町立東川第一小学校	「進んで学び、考えを深める子どもの育成」 ～小規模校における個に応じた算数科指導を通して～	算数 学習指導5・6・7
6	美瑛町立美進小学校	「発想を豊かに創意工夫し、主体的に活動できる子どもの育成」 ～体育科・運動領域を通して自分たちの学習を高め合う授業の工夫～	体育 学習指導5・6
7	中富良野町立西中小学校	「思いを豊かに表現する子どもの育成」 ～国語科の説明文を窓口として～	国語 学習指導7
8	富良野市立鳥沼小学校	「自分の思いや考えを持ち、 伝え合うことのできる子どもの育成」 ～自らの言葉で、豊かに表現する子をめざして～	国語から各教科へ 学校・学級経営4 学習指導5
9	富良野市立山部中学校	「お互いを認め、高め合う人間関係の育成」 ～学級活動を中心とした取り組みを通して～	特別活動から全領域へ 学校・学級経営2 学習指導7



発行者

北海道へき地・複式教育研究連盟
www.hamanasu.com/dohekiren

委員長 阿部 政 範

編集責任者 三 浦 徹

印刷所 白楊印刷株式会社

岩見沢市5条西1丁目 TEL0126-22-1820

題字書家 濱谷 彩鶴 (はまやさいかく) 氏



第59回

全道へき地複式教育研究大会

胆振大会特集号

未来をたくましく生き抜く胆振の子らに

豊かな心と確かな学力を！！

新たな時代のへき地教育を標榜して！

北海道へき地・複式教育研究連盟委員長 **阿 部 政 範**



野山の紅葉も進み、日増しに秋の深まりを感じる季節となりました。皆様におかれましては益々ご健勝のことと拝察いたします。

さて、9月16日・17日の二日間にわたり、苫小牧市を全体会場に、胆振管内9会場を分科

会として、第59回全道へき地複式教育研究大会胆振大会が、道内各地から多くの参加者を得て盛会裏に行われました。

胆振大会は、平成8年度以来であり、当時の分科会場は、4市8町2村の14会場で開催され、数多くの実践研究を発信し、多くの評価をいただいた大会でありました。それらの成果を継承した本大会は、分科会こそ少なくなりましたが、胆振地区のへき地教師による確かな実践の歩みが、各分科会の学校にしっかりと受け継がれていることを実感いたしました。

当日は、晴天に恵まれ、太平洋を渡るさわやかな秋風に包まれた全体会、各会場校では、ふるさとに立脚した地域の風土と学校文化が活かされた教育実践が展開されたことは、ひとえに開催に向けて準備をいただいた胆振大会実行委員会の皆様

と関係者のご尽力のおかげと、改めて感謝とお礼を申し上げます。

9月末からは、次年度の上川地区を会場とし、全国大会に向けたプレ研究大会が既に始まっております。北海道へき地・複式教育研究連盟といたしましては、胆振大会の研究成果をしっかりとまとめ、上川へき地・複式教育研究連盟に引き継いでまいります。全道の仲間の皆様、特に上川管内はもとより近隣管内の会員の皆様には、プレ大会の参加を通して、全国へき地教育研究大会北海道大会の成功に向けたご支援・ご協力をお願いするところであります。

へき地教育を取り巻く現状は決して明るくはありませんが、実践の歩みを停滞させるわけにはいきません。先達の実践に学び、北海道へき地・複式教育研究連盟の第8次長期5カ年推進計画を共有して、研究を継続させると共に、各地区連・各学校の研究課題の解明に取り組んでいこうではありませんか。

最後になりますが、来年度からの小学校での新学習指導要領完全実施を控え、各学校では教育課程の編成に拍車がかかっていることと推察します。編成にあたっては、それぞれの地のふるさとの文化・教育資源を生かすなど、へき地教育の良さを積極的に取り入れたものとなりますよう、ご尽力をいただければと思っております。